

令和5年12月19日
健康福祉部健康福祉指導課
043-223-2313

令和5年度千葉県社会奉仕賞の表彰について

県では、長年にわたり社会奉仕活動を行い、社会福祉の増進に顕著な功績のあった個人及び団体を表彰し、その功績に報いるとともに、社会奉仕の精神の高揚を図ることを目的として「千葉県社会奉仕賞」を設け、昭和49年度から毎年度表彰を行っています。

本年度は、個人2名及び8団体を表彰することとし、下記のとおり表彰式を行います。

1 日 時 令和5年12月22日（金）午前11時から

2 場 所 千葉県社会福祉センター 3階大会議室
千葉市中央区千葉港4番5号

3 被表彰者 個人2名、8団体（別紙のとおり）

4 次 第 （1）主催者あいさつ（副知事 黒野嘉之）
（2）表彰状の授与

5 その他

- 取材を希望される場合は、当日会場の報道関係者受付で名刺をお渡しください。
- 取材中は、自社腕章の着用をお願いします。

【参考】

- 表彰開始年度 昭和49年度
- 過去の表彰実績 個人：121名、団体：287団体（令和4年度まで）

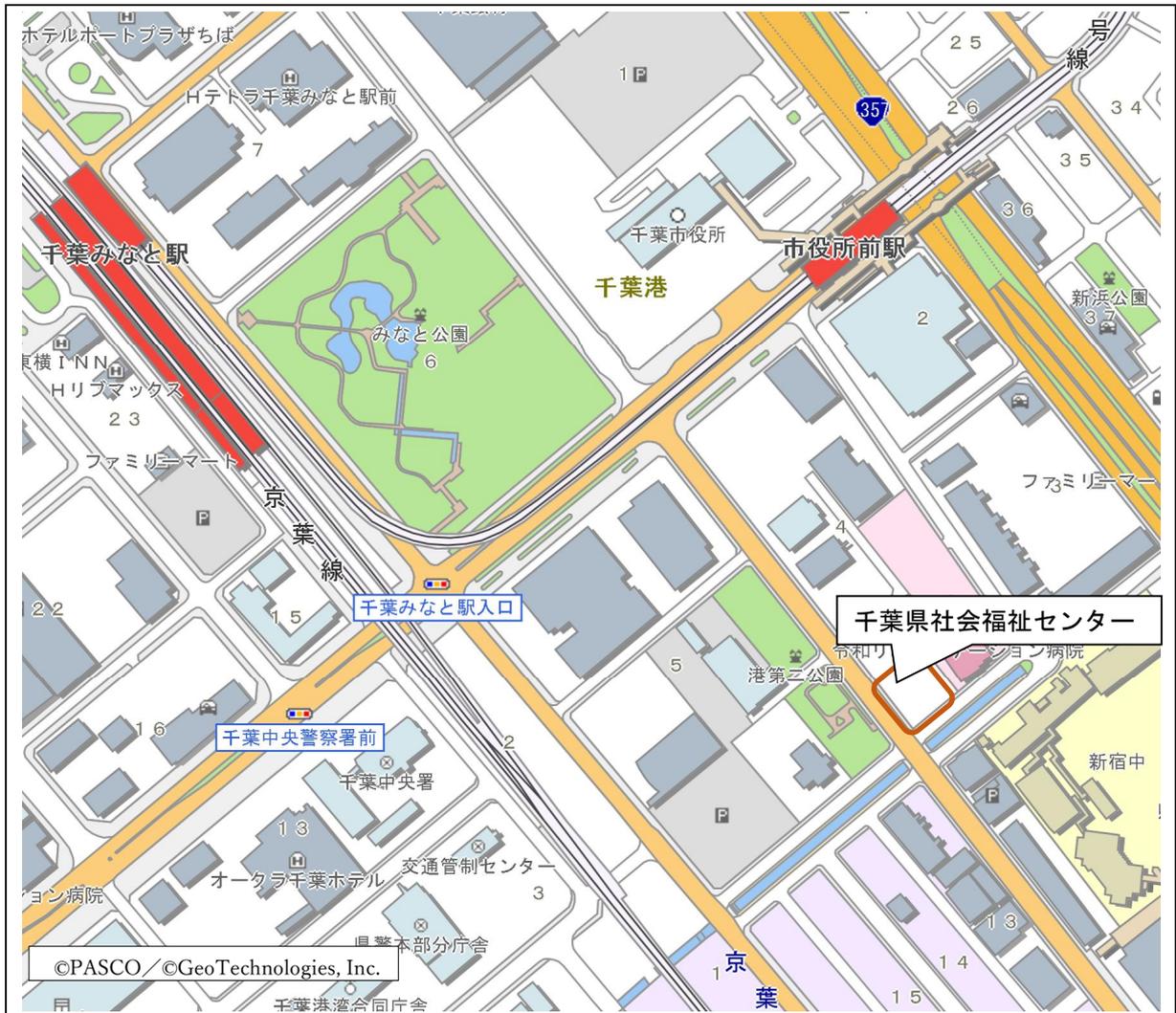
令和5年度千葉県社会奉仕賞被表彰者【個人】

No	推薦 市町村	氏名	功績概要
1	木更津市	すがわら まゆみ 菅原 真弓	<p>平成元年4月から主に70歳以上の一人暮らしの高齢者や65歳以上の障害を持つ夫婦に対して給食サービスの調理ボランティアとして、利用者の希望や栄養面を考慮した弁当の調理に努めるほか、弁当の配達ボランティアをしながら利用者の安否確認や見守りをするなど、高齢者たちの安心な暮らしのため尽力している。</p> <p>また、木更津市社協が主催する福祉体験学習へ協力し、子供たちの社会福祉への関心の向上に努めている。</p> <p>その他、障害者施設や高齢者施設へ訪問し、その施設のイベントの準備や開催への協力や、市や市社協が実施するイベントへの協力など、地域福祉活動に貢献している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症流行後は、福祉体験学習用車椅子や高齢者疑似体験用具の消毒ボランティアなど、限られた活動の中でも社会福祉への協力を続けており、長年にわたるボランティア活動による地域福祉への功績は大きい。</p>
2	船橋市	さとう せいいち 佐藤 誠一	<p>平成10年より精神保健福祉ボランティアとして、買い物、荷物運搬、情報収集など、障害を持った方への支援活動を継続している。</p> <p>平成28年からは「おもちゃの病院」に入会し、おもちゃドクターとして持ち込まれたおもちゃを無償で直す活動を、コロナ前は年間25回程度、コロナ後も年間15回程度と活発に続けている。</p> <p>また、船橋市地域活動センターオアシスにて、パソコン教室の講師をボランティアで年間12回行っており、様々な場面でのボランティア活動を積極的に努めている。</p>

令和5年度千葉県社会奉仕賞被表彰者【団体】

No	推薦市町村	団体名	功績概要
1	木更津市	おんやく かい 音訳の会「しおさい」	昭和57年に結成後、翌昭和58年から諸機関が発行する広報誌の音訳活動を開始。当初はテープに録音をしていたが、平成20年からはテープとCD混合で作成し、その後はCDのみ作成となり現在に至る。作成された音訳CDは、市内の視覚障害者（希望者）へ貸し出しされている。 毎月、金曜日9時から16時までを活動時間とし、広報きさらづ、市議会だより、福祉きさらづの発行日に併せて音訳活動をしている。その他、ミニコミ誌の編集・録音・発送も併せて行っている。 月1会勉強会を開催し、聞き手により伝わりやすい音訳技法などを学び、自己研鑽の活動にも励んでいる。
2	袖ヶ浦市	しい き 椎の木グループ	昭和57年にボランティア登録。 資源回収した食品などを社会福祉協議会へフードバンク用に寄付や、資源回収の収益金も社会福祉協議会へ福祉活動のために寄付している。 また、要請に応じて高齢者施設や障害者施設へ訪問し、カラオケ・踊り・フラダンスなどを披露し、慰問活動を実施している。 その他、袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会開催のボランティアチャリティーショーでは、出演者として舞踊を披露するほか、運営スタッフボランティアとしても活動し、市のボランティア活動運営にも積極的に協力している。
3	船橋市	ほうでろうどく かい 法典朗読の会	昭和61年12月より活動を開始。主な活動場所は法典公民館で、月2回2時間半の練習と学びを欠かさず続けており、目の不自由な方へのテープ吹き込み、お年寄りの方へ対面朗読、憩いの家、公民館の寿大学、老人大学08会、老人センターなどへの出前朗読、船橋市の広報ふなばしの吹込み、地域のまつりや文化祭、生涯学習イベントでの朗読や朗読劇、ナレーター、司会等、幅広く長きにわたり活動し多大な貢献をされ、地域の方に大変喜ばれている。
4	柏市	せいしほけん 精神保健ボランティアの会 ハートシップ	柏保健所主催精神保健ボランティア講座の修了生によって平成8年に団体を設立。平成15年から「ふらっとサロン」を自主運営しており、会員と精神疾患をお持ちのユーザーによるおしゃべり会を運営している。 また、精神疾患を持っている方の社会参加の場として、柏市内の福祉施設への訪問を行い、手芸、料理、公園清掃作業、話し相手をしている。
5	千葉市	ちばし 千葉市こころのボランティア・ あおば	当該グループは、平成11年から精神障害のある方への偏見や誤った認識をなくすための活動を実施している。 また、心の病を抱える方が地域で自分らしく暮らせるための支援を目的に、フリースペースあおばの運営を実施（月2回）し、地域住民と障害の有無に関わらずこころの交流ふれあい活動を行っている。その他、千葉市内の様々な場所で精神障害者に関するイベントへの参加協力や啓発活動も実施している。（月1回程度） これらの活動は、地域における精神障害者の居場所作りや差別解消の一助となっており、地域福祉の推進に寄与しているものと考えられる。
6	袖ヶ浦市	そでがうらこうこう 袖ヶ浦高校ボランティア同好会	昭和56年にボランティア登録。 学童保育で、子どもたちの勉強サポートや遊び相手など、子どもの健やかな成長を助けるためのボランティア活動を行っているほか、袖ヶ浦市介護予防教室の運営補助のボランティア活動など、市の社会福祉事業に対して積極的に協力をしている。 また、袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会主催のボランティアチャリティーショーでの運営ボランティアや、出演者としても協力し、高校生ならではの活動も行いながら、社会奉仕の意識を長い間学校内に受け継いでいる。
7	君津市	きみつてんやく かい 君津点訳の会	平成9年3月1日の結成時から図書館に多数の点訳図書を寄贈する。また、図書館の依頼により点字絵本や視覚障害者個人のニーズに合った点訳図書を無料で作成するなど、より多くの人が読書を楽しめるような環境づくりや図書館の利用促進に貢献している。 平成14年からは点訳ボランティアの育成も始め、視覚障害者のための点訳本の作成講座の開催、点訳の基本的な仕組みや初心者向けの体験講座の開催など、点訳や視覚障害者への理解についての活動に努めている。
8	千葉市	さんゆう HFR三友会 ヘアファッション研究会 ボランティア部	平成11年にボランティアグループとして結成。高齢者福祉施設（特別養護老人ホーム）利用者に対して訪問調髪カット活動を毎月4回行っているほか、病院や個人からの依頼により、訪問による調髪カットも随時（月3回程度）行っている。 これらの活動は、高齢者の生活資質の向上等、高齢者福祉の推進に寄与しているものと考えられる。

千葉県社会福祉センター 案内図



令和5年度 千葉県社会奉仕賞 表彰式

日時：令和5年12月22日（金）午前11時00分から

場所：千葉市中央区千葉港4番5号 千葉県社会福祉センター 3階大会議室

電話：043-241-0885

（会場への交通手段）

- JR 京葉線 千葉みなと駅下車 徒歩8分
- 千葉都市モノレール 市役所前駅下車 徒歩3分